

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年7月15日
【事業年度】	第24期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）
【会社名】	株式会社省電舎
【英訳名】	SHODENSYA CO.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中村健治
【本店の所在の場所】	東京都港区芝大門2丁目2番11号
【電話番号】	03-6821-0004
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 嘉納毅
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝大門2丁目2番11号
【電話番号】	03-6821-0004
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 嘉納毅
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月30日に提出いたしました第24期(自平成20年4月1日至平成21年3月31日)有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行っておりますので、併せて修正後のXBRLデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出致します。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

2 財務諸表等

(1) 財務諸表

貸借対照表

注記事項

(重要な後発事象)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第5 【経理の状況】

2 【財務諸表等】

(1) 【財務諸表】

【貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前事業年度 (平成20年3月31日)	当事業年度 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	232,381	462,797
受取手形	13,463	220,315
売掛金	833,483	409,651
材料	270,073	286,503
未成事業支出金	36,913	23,850
前渡金		6,437
未収入金		10,157
前払費用	30,545	383,687
その他	10,708	8,291
貸倒引当金	30,840	5,690
流動資産合計	1,396,728	1,606,002

< 後略 >

(訂正後)

(単位：千円)

	前事業年度 (平成20年3月31日)	当事業年度 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	232,381	462,797
受取手形	13,463	220,315
売掛金	833,483	409,651
材料	270,073	286,503
未成事業支出金	36,913	23,850
前渡金		6,437
未収入金		383,687
前払費用	30,545	10,157
その他	10,708	8,291
貸倒引当金	30,840	5,690
流動資産合計	1,396,728	1,606,002

< 後略 >

【注記事項】

(重要な後発事象)

(訂正前)

前事業年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	当事業年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
--	--

(資本準備金及び利益準備金の額の減少ならびに剰余金処分の件)

当社は、平成21年5月29日開催の取締役会において、「資本準備金及び利益準備金の額の減少ならびに剰余金処分の件」について決議を行い、平成21年6月24日開催の定時株主総会において承認されました。

1. 資本準備金及び利益準備金の額の減少ならびに剰余金の処分の目的

株主還元の一環としての黒字転換時における利益配当金実施可能性確保を主たる目的に資本準備金及び利益準備金の減少ならびに剰余金の処分を行うものであります。

2. 資本準備金及び利益準備金の額の減少ならびに剰余金の処分の要領

(1) 会社法第448条第1項の規定に基づき、次のとおり資本準備金を取り崩しその他資本剰余金に振り替えるとともに利益準備金を取り崩し繰越利益剰余金(その他利益剰余金)に振り替えるものです。

減少する準備金の項目及びその額

資本準備金 164,299,934円

利益準備金(全額) 5,000,000円

増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 164,299,934円

繰越利益剰余金 5,000,000円

(2) 会社法第452条の規定に基づき、次のとおり上記資本準備金振り替え後のその他資本剰余金及び別途積立金で繰越利益剰余金を欠損補填するものであります。

減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 164,299,934円

別途積立金 190,000,000円

増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 354,299,934円

(3) 貸借対照表への影響

減少する剰余金の項目及びその額

資本剰余金 354,299,934円

増加する剰余金の項目及びその額

利益剰余金 354,299,934円

3. 日程

効力発生日 平成21年7月30日(予定)

(訂正後)

前事業年度 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	当事業年度 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
--	--

(資本準備金及び利益準備金の額の減少ならびに剰余金処分の件)

当社は、平成21年5月29日開催の取締役会において、「資本準備金及び利益準備金の額の減少ならびに剰余金処分の件」について決議を行い、平成21年6月24日開催の定時株主総会において承認されました。

1. 資本準備金及び利益準備金の額の減少ならびに剰余金の処分の目的

株主還元の一環としての黒字転換時における利益配当金実施可能性確保を主たる目的に資本準備金及び利益準備金の減少ならびに剰余金の処分を行うものであります。

2. 資本準備金及び利益準備金の額の減少ならびに剰余金の処分の要領

(1) 会社法第448条第1項の規定に基づき、次のとおり資本準備金を取り崩しその他資本剰余金に振り替えるとともに利益準備金を取り崩し繰越利益剰余金(その他利益剰余金)に振り替えるものです。

減少する準備金の項目及びその額

資本準備金 164,299,934円

利益準備金(全額) 5,000,000円

増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 164,299,934円

繰越利益剰余金 5,000,000円

(2) 会社法第452条の規定に基づき、次のとおり上記資本準備金振り替え後のその他資本剰余金及び別途積立金で繰越利益剰余金を欠損補填するものであります。

減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金 164,299,934円

別途積立金 190,000,000円

増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金 354,299,934円

(3) 貸借対照表への影響

減少する剰余金の項目及びその額

資本剰余金 164,299,934円

増加する剰余金の項目及びその額

利益剰余金 164,299,934円

3. 日程

効力発生日 平成21年7月30日(予定)